

校内研修計画

甲州市立勝沼中学校

- 1 研究主題 確かな学力を育む学習指導の在り方
～ユニバーサルデザインの視点を取り入れた学習の工夫～

2 主題設定の理由

勝沼中学校の学校経営における基本方針は、甲州市で進める「確かな学力育成プロジェクト」の3つの視点である「授業づくり, 授業改善」「学級づくり, 集団づくり」「保護者, 地域住民等との連携」の中にすべて含まれている。ゆえに、甲州市のプロジェクトをもとに、生徒に確かな学力を保証する集団づくり, 授業づくりを推進し、併せて豊かな心を育む取り組みを実践することで、基本方針の実現へと向かっていくと考えられる。校歌の歌詞の中にある「学舎は常に愉しく」という言葉は、勝沼中のキーワードであり、生徒が学ぶことが愉しくなるように、教師集団がひとつのチームとなって、授業づくりと学級づくりに主体的に挑戦し励んでいくことを表している。特にその言葉を用いた「学舎タイム」の時間は、今年度も大切に取り組んでいきたい。

今年度は、「少子化・人口減少社会に対応した活力ある学校教育推進事業」の指定2年目として、タブレットと edutab を使った授業に一人一実践という形で全員が取り組んでいく。また、テレビ会議システムを活用し、大和中学校と各学年が1回ずつ自主学習と職場体験、伝統文化をテーマにした発表会を企画している。併せて、今年度もユニバーサルデザイン (UD) の視点を取り入れた学習指導についても取り組んでいく。「UD の視点」とは、発達障害またはその傾向をもつ生徒への配慮だけでなく、すべての子ども達に対する合理的な配慮を指導の中に取り入れていくことを考える。例えば、黒板の近くに掲示物を貼らないことやチョークの色を見えやすい白と黄色を主として使用することなどにより、すべての子どもがより授業に集中できる環境を準備することなどがあげられる。UD の一環として授業の構造化にも取り組む。授業のはじめに「目標」、展開や「まとめ」の部分で「ポイント」を掲示し視覚化することを継続していく。他にも基礎・基本の定着のために、スモールステップを意識した授業づくりと単元テストの回数を増やすことによる授業改善を進める。また、帰りの会を10分間延長して5教科の基礎・基本の問題を解かせる時間を設定する。更に、授業規律の均等化に向けた授業評価シートを活用、学びの甲斐善八か条を活用した家庭学習の振り返り、そして班替えや行事後のエンカウンターなど、学級づくりや家庭学習の習慣化にも力を入れていく。

以上の通り、今年度も昨年度から実践していることを継続して行うことに新たな視点を加え、より質的な向上を目指していきたいと考える。そのために、主に理論的なことは市のプロジェクトで学習し、校内研究は実践の場として、理論と実践を一体化させながら進めていきたい。子どもたちのために、市のプロジェクトや校内研究で学んだことをいかし、また自分自身の教師としての引き出しを増やしていくためにも新たなことに積極的にみんなで挑戦していきたい。

3 研究の具体的内容と方法

(1) 授業づくり, 授業改善に関わって

- ①ユニバーサルデザインを意識した学習環境づくり (掲示物やチョークの色等)
- ②単元テストの回数増加による指導の改善や「できるドリルタイム」, 「学舎タイム」の設定
- ③道徳の教科化に向け、内容項目を意識した授業展開
- ④NRT検査や全国学力学習状況調査, 県学力把握調査の分析及び改善
- ⑤授業の構造化 (目標やポイントの提示)
- ⑥読書活動の充実 (朝読書の実施)
- ⑦甲州市「ティーチャーズノート」の活用

(2) 学級づくり, 集団づくりに関わって

- ①授業評価シートを活用し、授業規律の確立
- ②「hyper-QU」の実施とK-13法での分析及び活用

- ③甲州市「ティーチャーズノート」の活用
- ④平和教育の実施（わだつみ平和文庫講演会）

(3) 家庭学習の習慣化に関わって

- ①家庭学習のレシピを活用し、自主学習の質の向上
- ②基礎・基本の定着を目指す「学舎タイム」の実施
- ③甲州市「学習の手引き」「家庭教育・子育て」Q&Aの活用
- ④学びの甲斐善八か条の活用

【研究授業の実施】上記の（１）と（２）をふまえ、今年度は英語の研究授業を行う。

※一人一実践を活用した授業参観を計画的に行い、学校の中でお互いに参観し学び合う時間を確保する。

勝沼中学校 校内研究計画

研究主任 田邊 秀樹

月	日	曜	内 容	
4	2	火	第1回校内研究会(研究主題及び研究の柱・年間研究計画等)	
	8	月	NRT検査実施	
	10	火	「家庭学習のレシピ」説明会(任命式) 第2回校内研究会(年間計画・ティーチャーズノート)	
	18	木	全国学力学習状況調査・県学力把握調査	
5	22	月	第1回hyper-QUアンケート実施(4/24日までに実施) ※NRTの結果を記入	
	10	金	授業参観	
	17	月	「できるドリル」タイムスタート(計80回の予定) 「八のつく日」スタート	
6	29	水	・第3回校内研究会(各種テスト・QUの分析方法等・学年別) * 学年研究会(QU分析～5月中)	
	10	月	第4回校内研究会(指導案の書き方等)	
	18	火	八のつく日	
	19	金	甲州市「確かな学力」育成プロジェクト講演会①	
	24	月	学舎タイムスタート(26日まで) * 期末テスト前(30分間学習)	
7	6月中		タブレット講習会(総体後)	
	5	金	甲州市「確かな学力」育成プロジェクト講演会②	
	10	水	第5回校内研究会(1学期の反省等) * 大和中交流会①	
	18	木	八のつく日	
8	7月中		テレビ会議システム(1年:発表会)・・・担当(田辺)/自主学習	
	7	水	ブロック交流(教育講演会及び臨地研修会)	
	11	水	第6回校内研究会(全国学力学習状況調査・学力把握調査の分析結果等)	
10	9	24	火	八のつく日
	2	水	第7回校内研究会(指導案検討) 第2回hyper-QUアンケート実施(10/7までに実施) ※NRTの結果を記入	
	11	金	甲州市確かな学力育成プロジェクト講演会③	
	20	日	強歩大会 * 大和中交流会②	
11	1	金	授業参観	
	6	水	ブロック交流	
	13	木	第8回校内研究会(研究授業) * 浜辺(社会) 学年研究会(QU分析～11/18)	
	18	月	八のつく日	
	19	火	学舎タイム 期末テスト前(30分間学習)	
12	11月中		テレビ会議システム(3年:発表会)・・・担当(天野)/伝統文化	
	6	金	甲州市確かな学力育成プロジェクト講演会④	
1	12月中		テレビ会議システム(2年:発表会)・・・担当(飯島)/職場体験	
	16	木	わだつみ平和文庫施設訪問	
	22	水	甲州市確かな学力育成プロジェクト講演会⑤	
	28	火	八のつく日	
	29	水	第9回校内研究会(還流報告・研究紀要等)	
2	3	月	授業参観	
	18	火	学舎タイム 期末テスト前(30分間学習)	
	19	水	ブロック交流(小学校 授業参観)	
	20	木	学舎タイム 期末テスト前(30分間学習)	
	26	水	第10回校内研究会(研究紀要等) 八のつく日	

☆甲州市プロジェクト…5回 ☆校内研究…10回(QU分析含む) ☆学舎タイム…3回 ☆できるドリルタイム…80回

◎研究部 1年 田邊秀樹 2年 飯島春奈 3年 天野秀太郎

研究テーマ	教科領域	担当者・学年	授業予定日	TC要請
学級づくり, 授業づくりに関わる授業	社会	浜辺はるか・2学年	11月13日(木)	あり